

先進事例から考える自治体DX ～加古川市の事例を中心に～

社会全体でデジタル化が推し進められる中、各自治体においても業務効率化やより質の高い行政サービスを住民に提供していくために、DX推進の動きやBPRの取組みが進められています。本研修では、DX実現に至るまでの過程や自治体DXを進めるうえでのポイントについて、加古川市の具体的な取組み事例を中心にお話いただき、今後の展望や課題を考察します。

講師

株式会社あすまちラボ 代表取締役社長
TIS株式会社 ソーシャルイノベーション事業部
デジタル社会サービス企画部エキスパート
加古川市スマートシティ推進支援アドバイザー
鎌倉市スマートシティ推進アドバイザー

多田 功 氏



講師プロフィール

加古川市において、スマートシティ、データ利活用の事業を推進し、2023年4月より現職。特別定額給付金におけるスムーズな支給を実現する独自システムや新型コロナワクチン予約抽選システムを開発、他自治体にも提供したことが評価され「地方公務員が本当にすごい!」という地方公務員アワード2021と「NEC ソリューションイノベータ賞」をW受賞。オンラインで多様な市民の意見を集め、議論を集約し、政策に結びつけていくためのオンラインツール「Decidim」を日本で初めて導入するなど、加古川市のスマートシティ政策を牽引してきた。

日時

令和6年 11月29日(金) 15:00～17:00

場所

特別区職員研修所

(千代田区九段北1丁目1-4 東京区政会館別館)

対象

管理職、係長級の職員 ※受講を希望する主任も可

申込

各区(事務組合)研修担当まで

事前アンケートにて、DXに関する困り事や質問を受け付けます! この機会にぜひ、聞いてみませんか。